

2008年度 その他の活動

① 街角アート探索

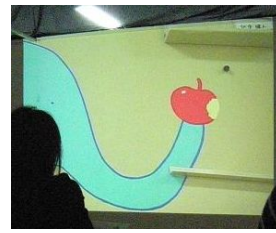
・6月4日(土)に北千里の彫刻探訪、11月1日(土)にメイシアター、中央図書館、片山公園、片山坂の絵画や壁画・彫刻を求めて探索しました。



中央図書館の万博遺産・壁画「南太平洋」 片山坂の「垂水の滝」

② 講演会「ホスピタルアート」に参加

・10月26日(日)さんくす図書館で森口ゆたかさん(NPO法人アーツプロダクツ代表)より英国や関西におけるホスピタルアーツ活動の現状をお聞きしました。



府立子ども病院でのアート活動を説明する森口ゆたかさん(左端)

③ 野外彫刻展と国立国際美術館見学

・10月23日(木)鞆公園の「花と彫刻展」(写真下)と中之島の国立国際美術館を見学しました。



2009年度 その他の活動予定

① 吹田市立博物館春季特別展 ゴールデンウィークイベントを企画・運営

日時：4月29日(水・祝) 場所：吹田市立博物館

- ・描いて 作って 遊ぼう! アーティストと一緒に! 3階広場 10時~16時
5月の空に楽しく描いて吹流しを作ります! 出来あがったら泳がせます!
ダンボール・布・石・貝殻・木片などに絵を描こう! 顔出し看板・ストーンアートなど。
- ・協賛団体によるイベント 2階講座室
午前：邦楽演奏(玉手箱)
午後：ヨガ体操&護身術(吹田柔道連盟)とリコーダ&リュート演奏(アンサンブルミーシャ)

② 野外アート資料収集、アートマップ・冊子の作成

・昨年実施した街角アート探訪にひきつづき、10月~3月に小グループで散策会を実施し、資料収集とアートマップ・冊子作りに取組みます。

③ 美術館巡り

・10月と2月を予定しています。

◇◇◇ 塾生募集と寄付のお願い ◇◇◇

- ・塾生になって新しい人との出会いとアートの世界を愉しんでみませんか。
・入会費 無料 ・年会費 (正会員) 2000円 (サポート会員) 1000円
- ・寄付のお願い (1口 1000円)
・トンネルアートはゆめ基金の助成金、参加費、市民・地元企業の寄付・ご支援で運営しています。
- ・郵便振替口座 00930-1-206507 加入者名 現代美術を愉しもう塾

塾だより Art De Go!

発行/現代美術を愉しもう塾 〒564-0001 吹田市岸部北 3-6-3 塾長 蓬田理恵子 (TEL 06-6389-0798)

現代美術を愉しもう塾 3年目にあって

塾長 蓬田理恵子

山がある。海がある。
風も光も輝いている。
行き交う足音は、街の賑やかな音楽や
森をこだまする音に聞こえてくる。

足掛け三年かけた吹田市立博物館名神下トンネルは、「21世紀の夢」をいっぱい詰めて完成しました。そこには日常の細やかな観察と自然界への憧れとが、融け合い響きあい、しかも活気に満ちて描かれています。

本年の私どもの活動は、夢のトンネルから夢の掛け橋、岸部南の地下道へと夢のバトンリレーを繋ぎます。この三年間に頂いた、皆さまのご支援ご協力をたすきに掛けて走ります。

「21世紀の夢」から「私のゆめ 僕のゆめ」へと、そこには一体どんな風が吹き渡り、どんな音が響き合うのでしょうか？

本年もまた、どうぞご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。

今年の夏は トンネルアート パート4 『岸部の地下道』 に取組みます。

2007年、2008年に引き続き、2009年度の子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）の助成を受け、また市民・地元企業などからのご支援を戴いて実施するもので、若いプロのアーティストの指導を受け、子どもたちと大人、ボランティアが交流を深めながらトンネル壁面を描きます。

場所は吹田市立岸部第一小学校前のJRをくぐる地下道です。『殺風景な地下道を、楽しい通学路に！』と取組みます。より多くの方々のご参加とご支援を期待しています。



スケジュール

- ・原画応募締切り：6月20日(土)
- ・描画準備作業：6月下旬～7月上旬
- ・描画作業：7月11日(土)～7月27日(月)
- ・完成式：8月9日(日)

・問合せ先：蓬田理恵子 (TEL 06-6389-0798)



2008年度の活動 トンネルアート パート3

3年越しのトンネルアートが完成 子どもたちとアーティストで描きました 吹田市立博物館の入口前・名神高速道路下トンネル(長さ40m)に完成

トンネルアートは吹田市立博物館の2006年度春季特別展「千里ニュータウン展」市民委員会の委託を受けて、名神高速道路下トンネル両出入口壁面に絵を描きました。

今回のトンネルアート・パート3では、昨年同様「アートの力で世代間交流を図りつつ、楽しい空間を創造しよう。」と、「子どもゆめ基金」の助成を受け、残されたトンネル内部壁面(高さ4m(作画3.5m)×幅40m)に絵を描き、2008年8月31日完成しました。

幅広く参加を呼びかけ、「21世紀の夢を描こう～祭りつどい踊り～」をテーマに原画を公募し、採択された原画をもとに、アーティストと公募した参加者、地域の子どもたちから大人まで、アートを通じて交流をはかりながら制作しました。

壁面の洗浄から下地処理では、地域の高齢者クラブ、大学生、中学生などの大きな支援がありました。通るたびに声をかけ励ましてくださった方々、そのほか各方面からのご支援やご厚志を戴きました。日中気温が35度近くになる暑かった今年の夏、トンネルを吹き抜ける涼しい風を受け、また蚊に悩まされたりしながらも、楽しく制作することができました。

皆様のご支援に心からお礼申し上げます。有難うございました。(塾長 蓬田理恵子)

✚ ご協力ありがとうございました ✚

吹田市 市民文化部 建設緑化部 吹田市教育委員会 吹田市立博物館 吹田ケーブルテレビジョン
西日本高速道路(株)関西支社吹田市管理事務所 産経新聞 FM千里 大阪北生活協同組合コープ吹田店
イズミヤ千里丘店(株) コカ・コーラウェストホールディングス(株) 山崎製パン(株) 吹田市柔道連盟
岸部いきいきワーカーズ すいた市民環境会議 吹田市立博物館を盛り上げる会 ぷくぷくの会
田中整骨院 ピップエレキバンド 公園発スローライフ楽しみ塾 アートスペース Café Slow
ギャラリーいろはに 大阪彫刻家会議 ピップエレキバンド

大阪学院大学学生課・校友会 関西大学ボランティアセンター 大阪芸術大学付属大阪美術専門学校
吹田市立第二中学校 第五中学校 佐井寺中学校 岸部第二小学校 東小学校 東佐井寺小学校

■ 梶川文代 生島豊昭 小山修三 原田 憲 藤原 学 岸岡伸樹 吉田宗義 田端直人 和田映子
久保克子 赤松俊也 赤松加容子 熱田克子 熊岡真理 鎌苅宏司 花岡きよみ 小田忠文
岡村昇二 古谷啓伸 下村敬三 榎崎裕弘 兼崎祐世 筏 隆臣 大野和之 澤田和代 内藤 晶
中野直衛 池淵佐知子 谷川一ニ 奥居 武

他大勢の方々のご協力、ご厚志を頂きました。深く感謝申し上げます。(順不同、敬称略)

<参加アーティスト>

杉尾信子 木村佳余子 池上大樹 まこまなこ 橋本リエコー (順不同敬称略)



制作風景 (描画参加 延べ人数 子ども140人 大人75人)

2008 年度の活動 トンネルアート パート3

トンネルアート完成式・完成記念パーティ

2008年8月31日(日)

夏休みの最後の日、最後の残った壁の絵に市立博物館館長が筆を入れて、3年越しの巨大な壁画『トンネルアート』が完成しました。

引き続きおこなわれた式典では、館長より「わたしが博物館に赴任してきたころ、このトンネルは殺風景で落書きだらけ、それが皆さんのお陰で、すばらしい空間に・・・」と、謝辞をいただきました。



指導のアーティスト

左から杉尾・池上・まこ・木村

完成式には描画に参加した子どもたちや大人、アーティスト、ボランティアなどの関係者のほか、市の職員や博物館関係者、千里ニュータウン展市民委員、万博展市民委員、博物館を盛り上げる市民の会のみなさんなど100人を超える人が集まりました。絵を描いた子どもたちからも参加した喜びを話していただきました。

正午からは場所を博物館3階の芝生広場に移して、ワンコインパーティで完成を祝いました。パパさんバンド「ピップエレキバンド」も出演、ここでもたくさんの方の交流・出会いがありました。

(写真提供 博物館を盛り上げる市民の会)



・トンネルアートに参加して

私がこのトンネルアートに参加させて頂いて、今年は3年目となります。最初は壁に絵を描く機会なんてめったにないので、息子にとっていい思い出になるだろうという位の軽い気持でした。けれどもいざ描き始めると、私のほうが楽しくて夢中になって描いていました。

毎日が忙しく慌しくて、息子とゆっくり何かをすることもなかったので、このトンネルアートは、親子で一緒に取り組めるよい機会にもなりました。毎回参加する度に、色々な人が描いているこの壁が、どのような作品になるのかとワクワクしました。

昨年は一昨年の感想を伝えることで、多くの方に参加して頂けました。又事前に下書きをしっかりと描いて参加して頂けたので、より素晴らしい作品ができたことを嬉しく思います。今年もより多くの方々に参加して頂けるよう、積極的に働きかけトンネルアートの楽しさを広めていきたいと意気込んでいます。(岩本誉子)

・現代美術を愉しもう塾に参加して

一昨年の夏、親子でトンネルアートに参加したのがご縁で、塾生になりました。日ごろ紙の上でしか絵を描くことがない私達には、身体全体で壁に描く行為は新鮮で楽しいものでした。また大きな空間に絵を描く喜びは時間も忘れ、夏の暑さもトンネルの心地よい風が癒してくれました。

次に、街角アート探検に参加したことで、私達の身近に結構あるアートにも目が向き、関心を持つようになりました。塾の活動に参加して思うことは、普段の生活からほんの少し目線を変えることで、豊かな毎日が過ごせることを実感しました。この夏はどんな絵が殺風景なトンネルを変身させてくれるのか楽しみです。(奥野 裕子)